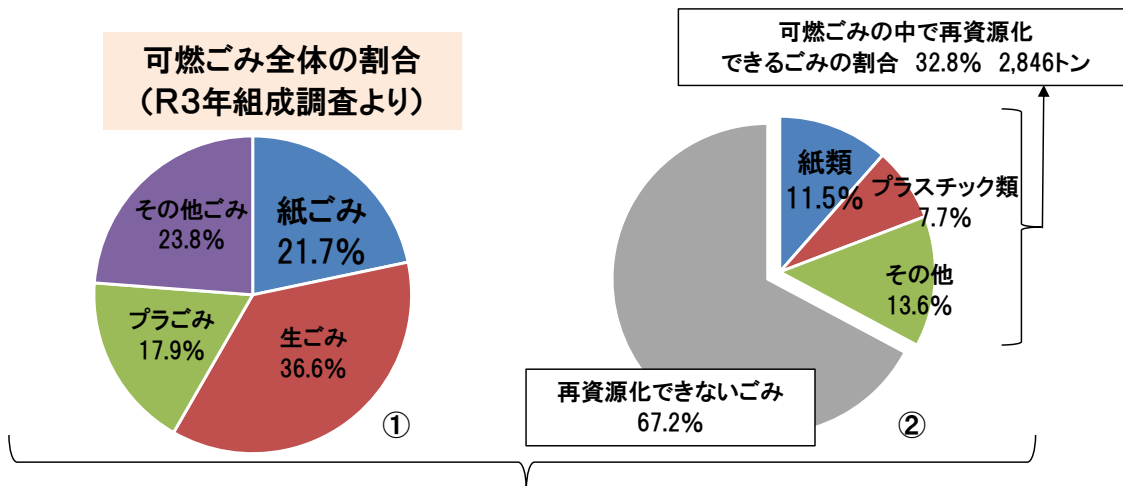


可燃ごみの組成調査からわかる再資源化できる紙の現状

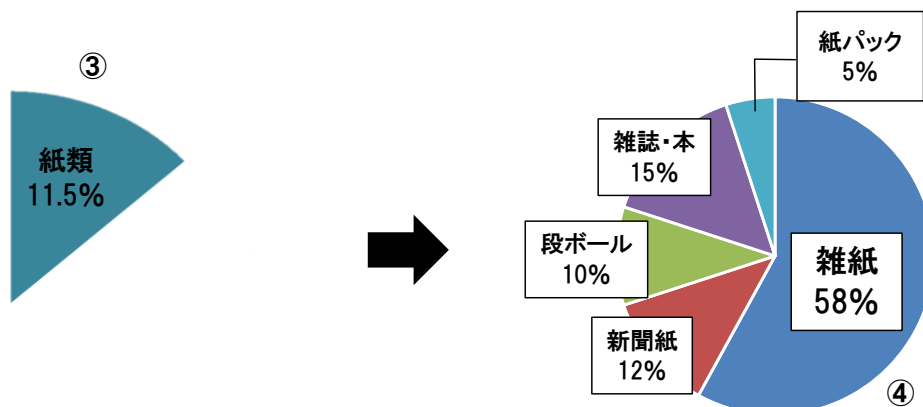
那珂川市全体での可燃ごみ量は年間 8,676トン

(令和3年度末時点)



再資源化できるごみのうち紙ごみは、8,676トン×11.5%=

998トン



可燃ごみに含まれる再資源化可能な紙の中に 998t×58%=約579tの雑紙が含まれている。

R3年度 集団古紙回収量は、623t です。
再資源化できる紙ごみ量 998t > 集団古紙回収量 623t
であり、まだまだ古紙リサイクルが可能です。
再資源化できる紙ごみ量 998t を補助金に換算すると約600万円となり、
約600万円分の古紙が紙ごみとして焼却されて非常にもったいない状況
となっています。